

湘南地区連絡協議会 道路・地域実態調査

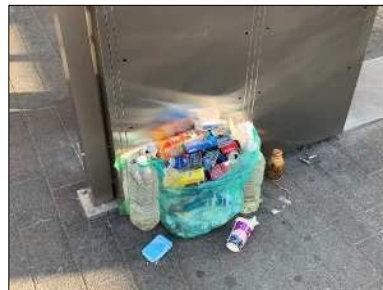
日 時：2021年04月12日(月)

場 所：2市1町

行 動 者：萩原和・萩原弘・望月

湘南地区連は、神奈川交運労協及び湘南地域連合を通じての政策・制度要求のため最終調査を3人で行いました。

前回、夕方に調査した県道22号線(新東山田⇄夏刈)を今回は早朝6時20分から再調査を行いました。調査場所は片側2車線で交通量の多い道路、信号機以外の場所で無理な右折があり危険との報告があった場所。しばらく待機していると、かなりのスピードで右折をする自家用車がありました(続けて2台)。対向車線の車がスピードを出しているため、急いで右折するのは心理として分かるが、曲がった先は住宅地、後を追うと、ショートカットの為の右折であった。そんなに急いでどこに行く！



湘南台の喫煙所

湘南台駅、長後駅など小田急沿線、倉見駅、寒川駅など茅ヶ崎駅まで、辻堂駅、藤沢駅、片瀬江ノ島駅まで駅周辺の喫煙状況を調査しました。

藤沢市の対応については、注意喚起や路面にペイントをし『喫煙禁止』を示していましたが、江の島の観光地では、気のゆるみか？なのか、飲酒の影響か休憩スペースでの喫煙がされていました。観光協会の案内所で喫煙所の場所を聞きましたが、「オリパラで喫煙所はありません」との回答でした。



駅には路面や看板にて呼び掛けている。



心無い観光客(江の島)

茅ヶ崎市・寒川町の対応には、温度差を感じます。まず、受動喫煙についての考え方や取り組み方法が見えてこないのが本音です。その結果、どこでも喫煙できる、子供がいよいよ気にしない喫煙環境になってしまっていると感じました。



寒川駅では残念ながら無法状態でした。恐らく通勤時間帯にここで喫煙するのが常態化しているのでしょう。寒川町には受動喫煙対策を行うよう要請したい。



【新規発見】

国道 467 号線、高倉中学校交差点では、右折車両がゼブラゾーン、センターラインを跨いでの縦列、右折待ちになっている。ルール通りに右折待ちをした場合には、この信号を頭に大渋滞するだろう。右折車両が違反にならないよう右折ラインの延長を求めたい。



北茅ヶ崎駅付近の踏切では、踏切を渡ってすぐに右折市駅方面へ向かえる。交通量も多く、2 輪車のすり抜けなど危険な状態。踏切を渡ってすぐ右折は禁止とすべき。



=感想=

4月12日(月)早朝6時20分より調査してきました。今回の早朝からの調査目的は、いすゞ自動車藤沢工場近隣のトラック往来状況を確認するために、早朝となりました。また喫煙所の利用も通勤時間を狙う目的もありました。

いすゞ自動車藤沢工場近隣の道路実態調査では、過去に2回調査した中で、時間帯が昼頃ということもあり、問題となるトラックは見受けられず、朝一ならと思い調査に向かいましたが、実態としては問題となるようなトラックは1台もなく、いすゞ自動車で指導が徹底されているのではないかと想定しました。

2市1町喫煙所調査は、藤沢市は平成29年2月より藤沢市内駅近隣の禁煙が徹底されているものの、やはり一部ルールを守れない方がおり、禁煙エリア外での排水溝への吸い殻のポイ捨てが目立ちました。

寒川町では、寒川駅東口の階段下が酷く、吸い殻のポイ捨てに加え、空き缶のポイ捨てもありました。

茅ヶ崎駅では、新たに喫煙所を設けたものの、旧喫煙所では平然と女性が座り込んで喫煙しており、循環パトロールなどの必要性も感じました。

当然ですが、基本的に人通りの多い駅はマナー違反や吸い殻のポイ捨てが目立ち、喫煙者のマナーが問われる結果となりました。また行政で力の入れようが違い、神奈川県として考えなければならぬとも感じました。喫煙者の方はルールを守りましょう！お願い致します。

丸全昭和運輸労働組合 萩原 和彦

4月12日(月)朝6時20分より先月行った道路調査で実態を把握出来なかった箇所及び藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町の駅周辺での喫煙実態を調査してきました。行動メンバーは皆さんご存知の通りいつもの3人組(萩萩望)です。

今回の調査に於いては3人の中でも唯一の喫煙者である私自身が喫煙者の立場、気持ちに立っての調査！という事でいつも以上に私自身気合の入った調査になりました。

前回実態を把握出来なかったら道路改善箇所においてトラック車両の右折は見られなかったものの自家用車の右折を見ました。かなりのスピードで右折してきましたので、これがトラックだったたらかなり危険だと感じました。

喫煙所については13駅の実態把握をする事が出来ました。藤沢市では重点区に設定されてる駅では喫煙所があり中でも湘南台駅での喫煙所のマナーの悪さが(空き缶、ゴミ等のポイ捨て)1番の問題点だと感じました。

茅ヶ崎市の駅については、やはりマナーが悪い印象です。以前あった喫煙スペースは現在、昔あった場所に移動、しかし、以前の場所での喫煙している人が数名、灰皿が無くては？茅ヶ崎市の受動喫煙対策に対する力の入れようを感じた一面。一方、茅ヶ崎駅の南口には喫煙所がBOX型になっておりこの形で整備されて行く事が喫煙者、非喫煙者にとって1番望ましい！共存できるのだと思いました。

寒川町の各駅に於いては、無人駅や駅の大小があり、中でも寒川駅のマナーの悪さが特に目立ちました。そこは、駅入り口階段横のベンチスペース。喫煙スペースでは無いので当然灰皿はありません。ここでも寒川町の取り組みに温度差を感じました。

13駅回った中では藤沢市に於ける重点区以外の駅では、周辺に路上喫煙禁止区域の立て看板、地面には喫煙禁止区域のペイント等がされており、喫煙者の立場から見ると『ここでは吸ってはいけない』と言う

事がわかります。喫煙者のマナー向上には足りないかもしれませんが、藤沢市は一定の対策をしていると喫煙者の立場でギリギリ言えると思います。

最後に感じた事は、全ての喫煙者のマナーにかかっており、自分が喫煙する事で他人に迷惑をかけるという事をしっかりと考えれば両者の共存は今後可能ではないかと強く思う1日になりました。

日新労働組合 萩原 弘達

今回の調査から幾つかの改善項目を発見しました。

道路改善については、新たに2箇所を発見。1か所は通勤時間帯での一時的なものです。ドライバーが違反にならないように取り組みを進めることが大事でしょう。もう一か所は、踏切を渡った後、右折する場所は日本中にかなりある、しかし、対向側から2輪車は見えない状態で危険を感じました。運転手に聞くと、「踏切の手前から右折を後続車に伝えてはいるものの渡った後、後続車が来ていると焦ってしまう」そんな時に出会い頭の事故が起きるのではないかと？右折禁止は必要です。

各駅での環境実態については、藤沢市は、対応はしているが、対策はしていない感があります。他の地域よりは、受動喫煙対応はされていると思いますが、ちらほら吸い殻を見つけました。特に藤沢駅南口の対策が急務だと感じました。今回は喫煙者も行動者でしたので、『俺ならここで吸う』と行って向かった先は、隅っこ！や階段横！吸う方の行動はみな同じですね。

ビックリしたのは、江の島の中！案内所の前のスペースは共有休憩所になっているのでしょうか。しかし、そこで喫煙をしている観光客、目の前の店も注意はしないようです。また、商店が並ぶ通りで店と店の間(1.5Mくらいの間口、奥行き10Mくらい行き止まり)に、店側が灰皿を用意し囲いも排気もない場所で喫煙をしていました。ここにも十分な排気、通りに匂いが漂わない様にすべきですね。

県連 望月 博巳